

日本天文学会 1991 年度春季年会記事

1991 年度春季年会は、5月14日(火)~17日(金)の4日間、東京大学構内の山上会館および安田講堂で開催された。

講演数は、口頭によるもの 312 (内、取消 3)、ポスターによるもの 33 で、post-deadline papers は1件が採用されポスター発表を行った。年会参加者は 611 名であった。

口頭による研究発表の座長は次の方々をお願いした。

A会場 (山上会館大会議室)

5月14日	午前	木下 宙 (A 1~15)
	午後	内田 豊 (A 16~28)
		桜井 隆 (A 29~41)
15日	午前	中野武宣 (A 42~57)
	午後	福井康雄 (A 58~71)
		土佐 誠 (A 72~85)
16日	午前	松岡 勝 (A 86~101)
	午後	牧島一夫 (A102~117)
17日	午前	高原文郎 (A118~133)
	午後	藤本光昭 (A134~143)
		富田憲二 (A144~155)

B会場 (安田講堂)

5月14日	午前	安藤裕康 (B 1~14)
	午後	辻 隆 (B 15~28)
		長瀬文昭 (B 29~42)
15日	午前	井上 一 (B 43~58)
	午後	高原まり子 (B 59~73)
		横沢正芳 (B 74~87)
16日	午前	石黒正人 (B 88~103)
	午後	浮田信治 (B104~119)
17日	午前	大谷 浩 (B120~135)
	午後	小山勝二 (B136~145)
		笹尾哲夫 (B146~157)

初日の年会講演終了後、午後6時から安田講堂で公開講演会が開かれた。参加者約1,000名。

1. 宇宙はいかに生れたか(現代科学の描く創世記)
講師: 佐藤勝彦, 東京大学理学部教授
2. 宇宙の構造を探る(宇宙は永遠に膨張を続けるか)
講師: 岡村定矩, 東京大学理学部教授

開催数日前から問い合わせがあり、この講演会の成功には手応えが感じられていたが、案の定、当日は4時頃から参加希望者が安田講堂を訪れる有様であった。これは、1. 演題が時機を得たものであった。2. ポスターを学内各所に掲示した。3. 朝日新聞に紹介記事が載った。等の効果が重なったものと思われる。

講演が始まると間もなく1階はほぼ満席となり、遅く来場された人達には2階席に入ってもらった。参加者の

7割は学生で占められていたようだが、定刻を超えて2時間半に亘った講演会も殆んどの人が最後まで席を立たなかった。質問も活発で、講演終了後、講師を囲んでの議論も仲々盛んであった。

年会期間中の研究グループの会合は12~13ありそれぞれ成果があった模様である。

賛助会員のための展示コーナーには、次の4社が参加された。

ニュートリノ様 浜松ホトニクス様
エイ・イー・エス様 東京大学出版会様

また16日の総会后、催された懇親会には170数名の参加があり、会場となった山上会館1階のフロアは大変な賑いであった。(毎回のことながら、五島プラネタリウム様、恒星社厚生閣様、エイ・イー・エス様からご寄付をいただき大変感謝している次第です)

総会記事

平成3年度通常総会は5月16日午後4時~5時30分に東京大学山上会館大会議室で開催された。約130名が出席した。

議長: 理事長 小暮智一

総会次第:

1. 天体発見賞贈呈の件
2. 日本天文学会研究奨励賞贈呈の件
3. 平成2年度会務報告
4. 平成2年度会計報告・会計監査報告
5. 平成3年度予算
6. 次期理事長・副理事長の選出
7. 次期理事の指名
8. 次期委員の委嘱
8. 会計監査委嘱
10. 新・旧理事長挨拶

◇天体発見賞贈呈の件

評議員会の議決に基づき、以下の4氏5件に天体発見賞・天体発見功労賞を贈呈する件が提案され、満場一致で承認された。

1. 土屋 清氏 「土屋・木内彗星」 天体発見賞
2. 木内 鶴彦氏 「土屋・木内彗星」
天体発見功労賞
3. 新井 優氏 「新井彗星」 天体発見賞
4. 木内 鶴彦氏 「メトカーフ・ブリュウイントン周期彗星」 天体発見功労賞
5. 菅野松 男氏 「1991年ヘルクレス座新星」
天体発見賞

引き続き表彰式が行われ、理事長より表彰状・メダルが手渡された。(土屋氏は欠席のため、総会后送付した)

◇日本天文学会研究奨励賞贈呈の件

評議員会の議決に基づき、下記の研究に今年の研究奨

勲賞を贈呈する件が提案され、満場一致で承認された。
記

山本 智 氏

「実験室分光による星間分子の研究
—C₃H, C₄H の実験室分光と星間での発見—」

引き続き表彰式が行われ、理事長より表彰状・メダル
および賞金目録が手渡された。

◇平成2年度会務報告(付録1)

庶務理事より、平成2年度の会務報告があり原案どうり承認された。

◇平成2年度会計報告・会計監査報告(付録2)

会計理事より、平成2年度会計報告があり、これに関して会計監査より監査の結果正常であった旨の報告がなされ、原案どうり承認された。

◇平成3年度予算(付録3)

会計理事より、平成3年度予算についての説明があり原案どうり了承された。

◇次期役員の選出、指名および委嘱

評議員会の推薦に基づいて、理事長に田中靖郎氏、副理事長に竹内峯氏、辻隆氏を選出した。続いて新理事長から新理事の指名、内地留学選考委員・研究奨励賞選考委員の指名が行われた。さらに欧文研究報告編集委員・天体発見賞選考委員の委嘱と、評議員会から推薦された評議員選挙管理委員の委嘱を行い、総会の承認を得た。承認された役員は次の通りである。

日本天文学会役員構成

(任期:平成3年5月~平成5年5月)

理事

理事長	: 田中靖郎
副理事長	: 竹内 峯 辻 隆
庶務理事	: 唐牛 宏 吉澤正則
会計理事	: 井上 允 小杉健郎
欧文研究報告編集理事	: 尾崎洋二(編集長)
	木下 宙 池内 了
	祖父江義明 桜井 隆
	家 正則
天文月報編集理事	: 佐藤修二(編集長)
	梅村雅之 半田利弘
	一本 潔 川辺幸子
	堂谷忠靖

支部関係

北海道	: 馬場直志
東北	: 亀谷 收 斉尾英行
関東	: 西城惠一 嶺重 慎
	柴橋博資 田邊俊彦
	宮崎英昭 伊藤真之
中部	: 国枝秀世 柴田一成
関西	: 三上孝雄 郷田直輝
	加藤正二
中国・四国	: 田辺健茲
九州	: 平井正則

委員および会計監査

欧文研究報告編集委員(定員10名)

内田 豊	加藤正二	古在由秀
小平桂一	坂下志郎	佐藤文隆
杉本大一郎	田中靖郎	藤本光昭
森本雅樹		

内地留学奨学金選考委員(定員6名)

加藤賢一	西城惠一	沢 武文
水野孝雄	石黒正人	面高俊宏

評議員選挙管理委員(定員5名)

海部 宣男(委員長)		
尾中 敬	観山正見	田中培生
中村 士		

天体発見賞選考委員(若干名)

香西洋樹	古在由秀	石田蕙一
磯部 琇三		

研究奨励賞選考委員(定員5名)

小山勝二	池内 了	木下 宙
福井康雄	岡村定矩	

天文学用語専門委員(新規)

石黒正人	尾崎洋二	加藤正二
竹内 峯	堀 源一郎	松岡 勝
石田蕙一	神田 泰(幹事)	

会計監査(定員2名)

中野武宣	田原博人
------	------

【付録1】平成2年度会務報告

平成2年度は、本会創立83年度、社財法人設立後57年にあたる。

本年度に行なった事業

ア) 出版物の刊行

1) 欧文研究報告(Publications of the Astronomical Society of Japan)

第42巻第2号 L11-L32, 205-346頁
平成2年5月25日

第42巻第3号 L33-L58, 347-480頁
平成2年7月25日

第42巻第4号 L59-L68, 481-602頁
平成2年9月25日

第42巻第5号 L69-L82, 603-744頁
平成2年12月25日

第42巻第6号 L83-L98, 745-856頁
平成3年2月25日

第42巻第1号 L1-L8, 1-176頁
平成3年3月25日

2) 天文月報

第83巻4号から第84巻3号まで毎月発行

イ) 年会の開催

1) 春季年会

平成2年5月8日~11日 京都市 京大会館

参加者 478名

講演数 316 (ポスター 28, ポストデッドライン
4, 講演取り消し 3, を含む)
公開講演会 「ピンボケ電波望遠鏡ガンバル」
(講師 森本雅樹氏)

参加者 150 名

2) 秋季年会

平成 2 年 10 月 16 日～19 日 仙台市 市民会館
参加者 400 名
講演数 282 (ポスター 19, ポストデッドライン
3, 講演取り消し 3, を含む)
公開講演会 (仙台市立天文台主催, 本会共催)
「宇宙観測の最前線」(講師 海部宣男氏)
参加者 160 名

総会および評議員会, 理事会の開催

ア) 定期総会

平成 2 年 5 月 10 日 京都市 京大会館
議長: 小暮智一
議題: 1. 天体発見賞贈呈の件
2. 日本天文学会研究奨励賞贈呈の件
3. 平成元年度会務報告
4. 平成元年度会計報告・会計監査報告
5. 平成 2 年度予算
6. 第 8 期評議員の承認ならびに委嘱
7. その他 (パブリ編集問題検討 WG 活動報告,
定款改訂検討 WG 中間報告, 学会財政・会
費値上げについて)

イ) 臨時総会

平成 2 年 10 月 18 日 仙台市 市民会館
議長: 小暮智一
議題: 1. 会費改訂について
2. その他

ウ) 評議員会

平成 2 年 4 月 14 日 国立科学博物館 会議室
議長: 高窪啓弥
議題: 1. 総会提出議案について
2. 学会財政・会費値上げについて
3. 定款改訂について
4. その他

平成 2 年 5 月 9 日 京大会館 会議室
議長: 日江井栄二郎
議題: 1. 総会提出議案の確認
2. その他

平成 3 年 1 月 19 日 国立科学博物館 会議室
議長: 古在由秀
議題: 1. 日本学術会議第 15 期会員候補者の選出に
ついて
2. 同上, 候補者推薦人および推薦人予備者
の選出について
3. 会費改訂について
4. その他

エ) 理事会

平成 2 年 5 月 11 日 京大会館 会議室
平成 2 年 8 月 25 日 国立科学博物館 会議室
平成 2 年 10 月 19 日 仙台市民会館 会議室
平成 3 年 4 月 4 日 学士会館分館 会議室

その他の主な事項

- ア) 天体発見賞を 1 件 1 氏に, 天体発見功労賞を 1 件 2 氏に授与した。(5 月)
- イ) 第 2 回研究奨励賞を須藤 靖氏に授与した。(5 月)
- ウ) パブリ編集問題検討 WG の活動報告を行なった。(5 月)
- エ) 定款改訂検討 WG の中間報告を行なった。(5 月)
- オ) 年会講演からトピックスを選び, 報道機関に資料を提供した。(5 月, 10 月)
- カ) 平成 2 年度学術交流費によって春季年会 (京都) 49 名, 秋季年会 (仙台) 70 名, 計 119 名に対して旅費補助を行なった。(5 月, 10 月)
- キ) 日本天文学会編天体スライド集「遙かなる宇宙へ」を, 増刷し, 継続して頒布した。(6 月～)
- ク) 平成 2 年度科学研究費「研究成果公開促進費」として PASJ 刊行補助金 349 万円の交付が内定した。(5 月, 決定通知 8 月)
- ケ) 平成 2 年度文部省科学研究費第 1 段審査委員候補として 2 氏を日本学術会議に推薦した。(8 月)
- コ) 定款改訂検討作業の一環として, アンケート調査を行なった。(9 月)
- サ) 仙台市立天文台と公開講演会を共催した。(10 月)
- シ) 顕賞制度について, 意見交換会, および検討会を開催した。(10 月, 1 月)
- ス) 国立天文台一般公開の後援を行なった。(10 月)
- セ) 平成 3 年度科学研究費学術定期刊行物補助金 (欧天文研報告刊行補助金) の申請を行なった。(12 月)
- ソ) 会費に関する細則の改訂 (会費改訂) を行なった。(1 月)
- タ) 第 15 期学術会議会員候補者, 同推薦人の選出を行ない, 日本学術会議に届け出た。(1 月)
- チ) 天体発見賞選考委員会から, 1991 年天体発見賞に 3 件 3 名, 天体発見功労賞に 2 件 1 名の推薦があった。(3 月)
- ツ) 「天文用語標準化の調査研究」(科学研究費) を終了した。(3 月)
- テ) 研究奨励賞選考委員会から, 第 3 回研究奨励賞候補として 1 名の推薦があった。(3 月)

会員数

	特別 会員	通常 会員	賛助 会員	合計
1990年 3 月 31 日の会員数	795	1,545	52	2,392
入会	72	69	1	142
退会	22	57	0	79
移籍 (増)	16	6	0	22
移籍 (減)	6	16	0	22
1991年 3 月 31 日現在	855	1,547	53	2,455

平成2年度 一般会計正味財産増減計算書 社団法人 日本天文学会
 (平成2年4月1日~平成3年3月31日)
 (単位:円)

勘定科目	決算額
大・中科目	
増加の部	
資産増加額	
退職引当預金増加額	178,194
減価償却引当預金増加額	306,937
什器備品増加額	103,400
貯蔵品増加額	231,704
増加額合計(F)	820,235

減少の部	
資産減少額	
什器備品償却額	229,680
当期収支差額	195,516
負債増加額	
退職給与引当金繰入額	178,194
減少額合計(G)	603,390
当期正味財産増加額(H=F-G)	216,845
前期正味財産額(I)	13,842,157
期末正味財産合計(J=I+H)	14,059,002

貸借対照表 社団法人 日本天文学会
 平成2年度(平成3年3月31日)

【一般会計】 (単位:円)

資産の部			負債及び正味財産の部		
勘定科目	金額		勘定科目	金額	
大科目	中科目		大科目	中科目	
流動資産			流動負債		
	現金預金	3,028,938		未払金	2,187,414
	未収会費	858,240		預り金	1,238,976
	前払金	4,460,351		前受会費	671,380
	有価証券	499,320			
		600,000			
流動資産合計		9,446,849	流動負債合計		4,097,770
固定資産			固定負債		
	投資有価証券	5,000,000		退職給与引当金	667,017
その他の固定資産			負債合計		4,764,787
	什器備品	1,544,483	正味財産		
	貯蔵品	1,769,366		(うち、基本金)	14,059,002
	退職給与引当預金	667,017		(うち当期増加額)	(216,845)
	減価償却引当預金	396,074			
固定資産合計		9,376,940	正味財産合計		14,059,002
資産合計		18,823,789	負債及び正味財産合計		18,823,789

【特別会計】 (単位:円)

学術交流費			
流動資産	現金預金	金額	正味財産
		254,792	次期繰越収支差額 (うち当期減少額)
			(254,792)
資産合計		254,792	正味財産合計
			負債及び正味財産合計
			254,792
内地留学奨学金			
流動資産	現金預金	金額	正味財産
		322,891	基本金
			4,310,000
流動資産合計		322,891	次期繰越収支差額 (うち当期増加額)
			322,891
その他の固定資産	投資有価証券	4,310,000	(269,232)
その他の固定資産合計		4,310,000	正味財産合計
資産合計		4,632,891	負債及び正味財産合計
			4,632,891
研究奨励賞			
流動資産	現金預金	金額	正味財産
		1,771,132	次期繰越収支差額 (うち当期増加額)
			1,771,132
資産合計		1,771,132	正味財産合計
			負債及び正味財産合計
			1,771,132
小暮智一氏退官記念事業会からの寄付金			
流動資産	現金預金	金額	正味財産
		1,011,954	次期繰越収支差額
			1,011,954
資産合計		1,011,954	正味財産合計
			負債及び正味財産合計
			1,011,954

(注) 基本財産(基本金)たる資産: 投資有価証券 9,310,000円, 預り金のうち消費税 1,195,416円
 (うち当期消費税) 646,228円

監査の結果, 収支計算書及び貸借対照表の正しいことを証明します。
 平成3年4月17日

会計監査 堀 源 一 郎 ㊟
 成 相 恭 二 ㊟

【付録3】 平成3年度 収支予算書

社団法人 日本天文学会

(平成3年4月1日~平成4年3月31日)

【一般会計】

I) 収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額	前年度 予算額
大・中・小科目		
基本財産運用収入	308,000	241,000
基本財産利息収入	308,000	241,000
会費収入	22,520,000	16,800,000
特別会費収入	13,280,000	9,300,000
一般会費収入	11,360,000	7,800,000
学生会費収入	1,920,000	1,500,000
通常会費収入	9,240,000	7,500,000
事業収入	16,310,000	15,970,000
欧文研究報告発行事業収入	9,700,000	10,250,000
購読料	5,000,000	5,100,000
刷代	3,400,000	3,000,000
別刷代	1,300,000	2,150,000
天文月報発行事業収入	4,800,000	4,570,000
購読料	950,000	810,000
別刷代	750,000	360,000
広告料	3,100,000	3,400,000
年会事業収入	1,810,000	1,150,000
予稿集頒布収入	310,000	250,000
参加費	1,000,000	900,000
雑収入	500,000	0
印税収入	2,100,000	1,800,000
星座早見印税収入	2,000,000	1,600,000
星図星表めぐり印税収入	100,000	200,000
補助金収入	3,500,000	3,800,000
文部省刊行補助金収入	3,500,000	3,800,000
雑収入	3,220,000	9,340,000
受取利息	120,000	40,000
特別企画収入	2,200,000	8,800,000
その他の収入	900,000	500,000
当期収入合計 (A)	47,958,000	47,951,000
前期繰越収支差額	5,349,079	5,544,595
収入合計 (B)	53,307,079	53,495,595

II) 支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額	前年度 予算額
大・中・小科目		
事業費	33,160,000	31,720,000
欧文研究報告発行事業費	15,230,000	14,920,000
直接出版費	10,300,000	11,000,000
刷代	900,000	1,000,000
人謝件費	980,000	970,000
謝委託金	600,000	700,000
送送料	1,200,000	0
消耗品	900,000	1,100,000
雑費	300,000	100,000
雑費	50,000	50,000
天文月報発行事業費	13,030,000	12,300,000
直接出版費	8,400,000	8,200,000
刷代	650,000	400,000
人謝件費	980,000	950,000
謝委託金	1,000,000	800,000
送送料	1,650,000	1,600,000
消耗品	300,000	300,000
雑費	50,000	50,000
年会事業費	4,900,000	4,500,000
予稿集印刷費	2,200,000	2,200,000
送送料	400,000	450,000
会場費	550,000	450,000
消耗品	1,100,000	800,000
雑費	600,000	500,000
雑費	50,000	100,000

管理費	12,960,000	17,255,000
人謝件費	4,500,000	3,500,000
謝会費	200,000	350,000
負担費	350,000	300,000
税金	110,000	80,000
租税	1,100,000	1,100,000
旅送	1,000,000	1,000,000
什器	700,000	800,000
消耗品	300,000	100,000
印刷製本	800,000	900,000
光熱費	200,000	1,000,000
賃借料	100,000	75,000
保険料	850,000	900,000
諸手続	100,000	80,000
書籍購入	120,000	220,000
特種	130,000	0
費	2,300,000	6,700,000
費	100,000	150,000
特定預金支出	450,000	435,000
退職給与引当金	150,000	135,000
減価償却引当金	300,000	300,000
予備費	6,737,079	4,085,595
予備費	6,737,079	4,085,595
当期支出合計 (C)	53,307,079	53,495,595
当期収支差額 (A)-(C)	Δ5,349,079	Δ5,544,595
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	0

【特別会計】

(単位:円)

会計種目/科目	予算額	前年度 予算額
学术交流費		
収入の部		
賛助会費収入	2,070,000	2,100,000
受取利息	20,000	15,000
前期繰越収支差額	254,792	477,438
収入合計	2,344,792	2,592,438
支出の部		
学术交流費	2,080,000	2,060,000
予備費	10,000	12,438
支出合計	2,090,000	2,072,438
次期繰越収支差額	254,792	520,000
内地留学奨学金		
収入の部		
基本財産利息収入	260,000	208,000
前期繰越収支差額	322,891	53,659
収入合計	582,891	261,659
支出の部		
奨学金支出	240,000	240,000
予備	29,081	21,659
支出合計	269,081	261,659
次期繰越収支差額	313,810	0
研究奨励賞		
収入の部		
資金取利息	400,000	100,000
受取利息	90,000	5,000
前期繰越収支差額	1,771,132	253,860
収入合計	2,261,132	358,860
支出の部		
研究奨励賞支出	100,000	100,000
予備	10,000	2,980
支出合計	110,000	102,980
次期繰越収支差額	2,151,132	255,880
小暮智一氏退官記念 事業会からの寄付金		
収入の部		
寄付収入	0	0
受取利息	6,000	0
前期繰越収支差額	1,011,954	0
収入合計	1,017,954	0
支出の部		
研究補助費	1,000,000	0
予備	17,954	0
支出合計	1,017,954	0
次期繰越収支差額	0	0